



陽東中だより

第11号

平成31年2月26日
発行者 校長 酒井功夫

目指す生徒像 ～本気 勇気 元気 根気～

2年生立志式^{プラス}＋スキー教室

市内の中学校では、例年、立春前後に立志式を行っています。この立志式とは、元服にちなんで（数え年の）十五歳を祝う行事です。将来の決意や目標などを明らかにすることで、おとなになる自覚を深めるきっかけをつくることを目的としています。本校では、この立志式を7日（木）から8日（金）にかけて実施したスキー教室の宿泊施設となった軽井沢プリンスホテルで行いました。見方を変えると、立志式の記念行事としてスキー教室を実施したわけです。私は、今回のスキー教室に参加できなかったのも、代わりに引率団長としてお願いした副校長先生に次のようなメッセージを託し、立志式で伝えてもらいました。それは、室町時代の人で、能を完成させた世阿弥という人の言葉を借りて自覚と責任をもった人になってほしいという話です。具体的には以下の通りです。



※ 世阿弥の言葉を借りてのメッセージ

「舞台で舞っている自分の他に、舞台で舞っている自分を観客席で見るもう一人の自分がいる。それは、自分の肉体を離れたもう一人の自分である。そういう『二人の自分』をもって能は完成する。」

世阿弥のこの言葉の意図は、主観性だけでなく客観性をもって、自分の心をコントロールすることを言っているのです。そして、自分をコントロールするもう一人の自分を見つけることは、努力しないとできことだと言っているのです。だから、自分の気持ちを自分でコントロールする訓練や努力をするところが中学校なので、これまでの自分中心の考え方とかワガママから抜け出し、これからの生き方を学んでいってほしいのです。

スキー教室の方はというと、はじめて体験した生徒も多く、「わー」とか「きゃー」といった叫び声をあげながらも、楽しく滑っていたそうです。（中には、お尻で滑っていた生徒もいましたが・・・）

ドリームデザイン教室（働く人に学ぶ）

2月7日（木）に1年生において、「ドリームデザイン教室」を行いました。この教室は、①様々な職業人の方の話を聞き、望ましい職業観を形成するための基礎を培うこと ②自分の生き方・将来の進路について働くことの尊さを実感させ、他人を思いやる心や主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせること を大きなねらいとしています。



当日は、お仕事の内容や、その職業に就くための適切な進路等について、とてもわかりやすくお話ししてくださるとともに、人生の先輩として中学生期の大切さや意義についてもご助言をいただきました。子どもたちからは、「楽しかった」「もっともっと聞きたいことがあった」「大人ってすごい」という声が聞かれ、とても充実したものとなったようです。この貴重な経験を、来年度の職場体験学習「みやっ子チャレンジウィーク」に、生かせるようにしていきたいと思います。



平成30年度表彰式

3年生の卒業が間近となってきました。これまでに顕著な活動をしてきた3年生を対象とした卒業時表彰を、2月13日（水）、20日（水）の朝に全校生徒が体育館に集い実施しました。この表彰式は、他の中学校でも同じように実施しているもので、本校としての表彰と14の外部団体からの表彰とを併せて75人の表彰をしました。また、今後卒業式までに、60人の生徒の表彰を行う予定です。



3年生を送る会

3月11日（月）の卒業式を前に、2月22日（金）の午後に3年生を送る会を開催しました。3部構成で、第1部は、在校生から卒業生に感謝のことばと花束の贈呈、そして3年間の思い出が一杯詰まったスライド上映と合唱を行いました。第2部は、卒業生から在校生へお礼の品の目録贈呈と感謝の気持ちをお礼のことばとして伝えました。第3部は、卒業生から先生方へ感謝のことばと鉢植えの花の贈呈を行いました。美しい歌声が体育館に響き渡るとともに、懐かしい写真を見て、中学校3年間のお互いの変貌に驚きそして笑いありで、楽しい時間を過ごすことができました。最後に私から、「自然界で一番硬いと言われているダイヤモンドを磨き輝かせるのは、別なダイヤモンドでお互いに磨くあうことである。人もこれと同じで、家族、友だち、これから出会う人たちと磨きあって、輝く人となり素晴らしい人生を送ってほしい。」という話をしました。



・「陽東中だより」をはじめ、各種たよりや学校行事等の情報はホームページ「<http://www.ueis.ed.jp/school/yoto-j/>」にてご覧いただけます。